

2018年8月22日

各 位

日本レコードセンター株式会社

第4回絵手紙教室を開催

－ 1日のプログラムを通じて食の大切さを学びました－

SBSグループにおいて、音楽・映像ソフト物流を担う日本レコードセンター株式会社（社長：菊地和彦、本社：神奈川県厚木市）は、8月2日、従業員の子ども達を対象に「夏休み子ども教室」を開催いたしましたのでお知らせします。



開催4回目となる今年は、小学校1年生から中学校2年生までの31名が参加し、毎年好評の「絵手紙教室」「職場見学」に加え「芋ほり体験」を行いました。

絵手紙教室では製作前に講師の中溝裕子さんから、自分が食事をするまでに様々な人が関わっている事、元気である為に食事が大切な事などのお話があり、子どもは真剣な様子で耳を傾けました。その後、地域住民の方々から頂いた野菜を題材に、両親や祖父母に宛てて日々の感謝の気持ちなど一言添えた絵手紙を心込めて作りました。



中溝さんの教室は今年で4回目になります



経験の少ない墨での写生に子ども達は真剣



絵手紙にはユニークな言葉も添えられました

職場見学では、見慣れない物流現場に子ども達は興味津々。荷物が配送エリアごとに自動振り分けされると、驚きの声が上がりました。今年新たに追加された芋ほり体験では「飯山クラインガルテン 飯山農楽校」でのジャガイモ掘り体験を行いました。暑さのため時間短縮のプログラムでしたが、子ども達は畑で自然と沢山触れ合い、貴重な時間を過ごしました。



コンベアを流れてくる荷物に興味津々



農楽校の方々と一緒に体験



畑に咲いていた向日葵も頂きました

日本レコードセンターは、これらも地域の発展と子ども達の様々な教育に貢献し、地域住民の皆さまに愛される企業を目指します。

以 上

■ご参考

<絵手紙教室概要>

絵手紙とは：身近にあるものをモチーフにはがきに絵を描き、余白の部分に短い文章を添えたもの。

講 師：中溝裕子氏 1965年10月5日 滋賀県・彦根市生まれ。プロゴルファー。白血病の一種・骨髄異形成症候群の病気になり骨髄移植を受け「絵手紙」を始め、その後数々のポジティブメッセージを書き綴っている。

ホームページ：<http://www.mizomizo.jp/>

<日本レコードセンター株式会社概要>

本 社：〒243-0211 神奈川県厚木市三田4-7-3

代 表 者：代表取締役社長 菊地 和彦

設 立：1978年（昭和53年）

親 会 社：SBSロジコム株式会社（100%）

資 本 金：450百万円

従 業 員 数：764名（2017年12月31日現在）

物 流 施 設：厚木三田DC（神奈川県厚木市）

事 業 内 容：音楽・映像媒体などのパッケージソフトの物流を一括受託する3PL業務を中心に、多品種少量商品の物流に関する豊富な経験とノウハウを活かし、ネット通販に代表される多様な商品を小ロットで取り扱うお客様の物流に強みを持っております。

U R L：<http://www.nrc-jpn.net/>

■本件に関するお問い合わせ先

日本レコードセンター株式会社

人事総務部 TEL:046-289-5500

■本件に関するマスコミからのお問い合わせ先

SBSホールディングス株式会社

I R・広報部 TEL：03-3829-2240/e-mail：contact11@sbs-group.co.jp

※当資料に掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。